〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
東大曲 小学校	<p>地域再発見「古四王わくわく大作戦」</p> <hr/> <p>地域のシンボル国重要文化財「古四王神社」を主なモチーフとして「古四王フラワーロードづくり」, 「古四王学習」, 「火消しもち祭り」を地域の方々の協力を得て行い、地域を大切に作る心を育くむ活動。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古四王神社氏子の会 ・地域活性化団体 ・学校支援ボランティア ・イオンモール大曲 	<p>○地域の「ひと・もの・こと」と関わって学ぶことによって、新たな発見やつながりが生まれ、地域を大切に思う気持ちが育まれた。</p> <p>●地域に貢献する意識を高める視点から活動内容の改善を行うこととしている。</p>
花 館 小学校	<p>地域の伝統を守る「かしま流し」</p> <hr/> <p>花館地区で古くから行われている民俗行事を全校児童で行う。縦割りグループでかしま人形作りをする。かしま人形作りや舟作り、舟の材料となるガツギ（マコモ）の採集等に地域の方々の絶大な協力をいただいている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・花館地区老人クラブ ・PTA総務部 	<p>○自分たちが生活する花館地区の伝統行事とそれを守り受け継いできた方々の心に興味・関心をもち、お年寄りへの感謝の思いや地域を愛する心を育むことができた。</p> <p>●お年寄りの中でも高齢化が進み、ガツギ採集や舟の製作をしてくださる方々の確保が難しくなりつつある。</p>
内小友 小学校	<p>ほたるの里観察～わたしたちのビオトープ～</p> <hr/> <p>5年生が、ほたるの生息地である自然観察公園（ビオトープ）で動植物に触れ、生態系について理解する体験学習。子どもたちが生まれ育った内小友の自然の豊かさを実感するとともに、公園が作られた経緯や工夫を知ることによって地域の方々のふるさとを大切にする思いを学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化対策 いきいき会議協議会 	<p>○この活動を通じてより深い地元理解につながっている。ビオトープのような地域の宝物を守っていききたい、さらに、守るための活動に参加したいという思いを高めることができた。</p> <p>●各学年で「内小友」を大きなテーマに学習している。より系統性をもって、他学年との縦のつながりや各教科との横断的な関わりを意識した学習を展開していきたい。</p>
大川西根小学校	<p>公民館と連携した「農業体験活動」</p> <hr/> <p>全校縦割りグループでサツマイモ栽培を実施した。苗植えや収穫のときには、公民館の呼びかけで地域のお年寄りや老人クラブの方々も加わり一緒に作業を行った。5年生は保護者と一緒に米作りを体験した。公民館や地域の農家の方々の協力を得て、苗植えや稲刈りを実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大川西根公民館職員 	<p>○毎年恒例の行事となっていて、子どもたちも楽しみにしている。公民館や地域の方々との連携もスムーズである。今年はコロナウイルス感染拡大を考慮して行った。</p> <p>●お手伝いをいただいている公民館の職員やお年寄りの方々、田んぼを貸してくださっている農家の方々に感謝する場をつくっていききたい。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
藤 木 小学校	<p>地域や保護者の力を活用したのり巻きづくり</p> <p>-----</p> <p>全校児童を対象にして、のり巻きづくりを体験する。学校田での米づくりを通じて、地元の農業への取組や収穫の喜びを保護者と一緒に味わう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農家 ・J A職員 ・保護者 	<p>○コロナの拡大感染に配慮して形態を工夫しながら実施することができ、児童や保護者にも好評であった。</p> <p>●コロナの拡大感染予防に配慮しながら、より充実した活動にする手立ての工夫が必要である。</p>
四ツ屋 小学校	<p>地域と連携して行う「米作り体験学習」</p> <p>-----</p> <p>5年生を対象に田植え・稲刈り・米の販売の3つの活動を体験する。地元のJ A職員、農業従事者の指導をいただきながら米作りをして地元にある農産物産直店で米の販売を行う。米の栽培・収穫・販売を通じて、ものづくりの苦労や喜びを地域の方々の協力のもとで学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・J A秋田おぼこ 営農センター ・J A秋田おぼこ青年部 ・地域ボランティア (農業従事者) 	<p>○ものづくりを通じて、人との触れ合いができることが何よりの成果だと感じている。販売の準備等が大変だが、その分達成感や充実感を味わうこともできた。</p> <p>●今年度はできなかったが農業高校の生徒や近隣のこども園、保育園等との作業を通じての交流も状況に応じて行っていきたいと考えている。</p>
角間川 小学校	<p>田植え・稲刈り</p> <p>-----</p> <p>5年生が総合的な学習の時間で、初夏に田植え、秋に稲刈りを体験したり、水田の所有者の方の話を聞いたりする。この活動を通じて、農業を営む方の生き方について学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーター ・水田の所有者 ・田植えや稲刈りへの地域の協力者 	<p>○手作業で行うため苗の植え方や鎌を使った刈り方を教えてもらい、体験活動をした。米づくりの苦労を実感することができた。</p> <p>●田植えと稲刈りの間でも作業・管理が行われていることを把握できる活動の設定も検討している。</p>
西仙北 小学校	<p>地域に伝わる音楽に親しもう</p> <p>-----</p> <p>4年生の音楽の授業に西仙北民謡同好会の方々をお招きし、和楽器（尺八・三味線・太鼓・すりがね等）の説明を聞き、素敵な民謡と演奏を堪能した。多くの児童が太鼓体験コーナーに参加し、指導してもらった。郷土に伝わる民謡や和楽器に親しむことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西仙北民謡同好会 (民謡・踊り・太鼓演奏) 	<p>○郷土に伝わる民謡を聞いたり、和楽器に触れたりする体験を通じて、民謡の特徴、和楽器の音色や仕組みを知ることができた。</p> <p>●同好会メンバーが高齢化してきていて継続的な活動が難しくなっている。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
豊岡小学校	<p>地域と共に歩む「学校田活動」</p> <p>-----</p> <p>全校児童が地域の支援を受けながら学校田の田植えや稲刈り体験をする。その他の稲作に関する活動は、協力してくれる農家の指導を受けながら5年生が総合的な学習の時間で行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水土里ネット田沢疏水 ・協力農家（稲作指導） ・地域住民（田植え・稲刈り手伝い） 	<p>○地域の方々との触れ合いは、子どもたちにとって貴重な体験であり、地域の一員としての自覚の高まりや地域への愛着の深まりを感じることができた。</p> <p>●来年度からの統合小学校で同様の活動を行うことができるか、まだ決まっていない。</p>
協和小学校	<p>めざせ！お米マイスター</p> <p>-----</p> <p>5年生が総合的な学習の時間で、ふるさとの産業に触れ、そのよさを実感するため地域の方々の協力を得ながら米作りに挑戦した。作った米の販売体験や地域の方々の生き方や思いを語ってもらうことを通じて、キャリア教育の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・米作り農家 ・JA職員 ・PTA ・大型ショッピングセンター 	<p>○子どもたちは米作りの苦労と大切さを実感し、米作りへの理解を深めることができた。社会科の授業と関連付けながら体験活動を進めることができた。</p> <p>●学習を通して学んだ地域の米作りの様子や地域の素晴らしさについて、ICT機器を活用しながら子どもたちから発信する機会をより充実させていきたいと考えている。</p>
南外小学校	<p>地域のりんご農家の見学・仕事体験</p> <p>-----</p> <p>「大好き！南外（3年生の総合的な学習の時間）」でりんご農家の見学・枝の剪定・葉取り・玉回し・収穫等の体験を通じて、りんご農家の仕事内容や思いを知り、地域の一員として「南外の農業」についての理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・りんご農家 ・地域学校協働活動推進員 	<p>○りんごの木の本数や種類、ハチを使った受粉、作業の大変さや充実感等、実際に見学したり体験しなければ分からないことを実感することができた。</p> <p>●地域学校協働活動推進員にりんご農家との連絡調整をしていただいているが、担任も児童ができる仕事内容や準備について連絡を取り合って活動していきたい。</p>
高梨小学校	<p>「米米探検隊」地域の“お米の先生”から学ぶ</p> <p>-----</p> <p>5年生が総合的な学習の時間で、地域の基幹産業である農業の稲作を取り上げて学習する。地域のJAを窓口として地域の営農集団の“お米の先生”に協力をいただきながら、田植え・稲刈り・米の食べ比べを体験した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・営農集団 ・JA職員 	<p>○農作業を体験することで、その楽しさや苦労を知ることができた。農業への関心や生産者への感謝の心が育ってきた。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症対策のため、米料理の調理体験ができなかった。来年度は新型コロナウイルスの状況によるが体験させたい。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
横堀小学校	<p>学校田を活用した「代かき（どろんこ遊び）・田植え・稲刈り」体験，収穫感謝祭</p> <p>1，2年生は生活科で代かきを兼ねて土と触れる「どろんこ遊び」をする。4，5年生は総合的な学習の時間で「田植え体験」，「稲刈り体験」をして稲作の現状や課題，工夫等について学ぶ。なべっこの際に収穫したお米でおにぎりを作って全校で収穫感謝祭を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の学校田所有者（管理も委託） ・関係学年保護者・祖父母 ・北寿会（地域の老人クラブ） 	<p>○実際に土に触れたり，米作りに関わる作業をしたり，収穫したお米を味わったりすることで，そのよさや大変さ，喜びを実感することができた。</p> <p>●体験を基に，未来の米作りについて提言するなど地域に働きかけたり，発信したりする活動に取り組みたい。</p>
太田東小学校	<p>地域と共に米作り「なかよし田んぼ」</p> <p>全校で「田植え」や「稲刈り」を行うとともに，総合的な学習の時間で米作りについて学習する5年生は，田植えの前段階である「種まき」や「型付け」，稲刈り後の「脱穀作業」や稲わらを使った「縄織り作業」等を体験する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼの提供者を中心とする地元の農家の皆さん ・児童の家族の皆さん ・田沢疏水土地改良区 	<p>○手作業での田植えや稲刈り，脱穀などの体験を通じて，昔の農家の苦労や日頃食している米が多くの手間暇をかけて育てられていることを知ることができた。</p> <p>●これまでの田んぼ提供者が今年度で引退されるため，来年度からはこれまでよりも遠方の田んぼを使わせていただくことになっており，全校での取組を維持することが難しい。</p>
太田南小学校	<p>横沢曲がりねぎ植栽活動</p> <p>3，4年生がふるさと教育の一環として，江戸時代より横沢地区で受け継がれてきた「横沢曲がりねぎ」を栽培する。途中成長したねぎを掘り起こして「寝かせ」作業をし，収穫まで2年を要する。収穫した横沢曲がりねぎは，秋のなべっこで全校児童やお世話になった方々に振る舞う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協働活動推進員 ・曲がりねぎ栽培農家 ・農業振興情報センター職員 ・地元のパン屋 	<p>○地元に残る横沢曲がりねぎを栽培したことでふるさとに対する愛着の気持ちが深まった。地元パン屋と連携して「ねぎパン」を作り，好評を得た。</p> <p>●収穫までのスケジュールの中で，児童の関わる活動を増やしていけるよう検討したい。</p>
太田北小学校	<p>第14回全校音楽劇 「みつばちマーヤとゆかいな仲間達Ⅱ」</p> <p>本校では，2007年度から連続14回の公演に取り組んできた。地域と保護者，関係機関との連携のもと，子どもたちの考えたシナリオを基にオリジナルの物語に挑戦した。大仙市中仙市民会館ドンパルでの公演は，好評を得た。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家（舞台監督・演出・脚本）（音響・照明） ・バンドメンバー（ボランティア） ・本校PTA会員 	<p>○子どもたちはこの音楽劇を通じて，自己有用感を味わい，協力していただいている保護者・関係機関への感謝の心を醸成することができた。</p> <p>●効果的な準備・練習の計画・運用と地域・保護者・関係する機関との密なる連絡調整の必要がある。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
角 館 小学校	<p>地域の力を活用したものづくり体験学習「わくわく・どきどきランド」</p> <p>3年生児童を対象に体験することが少なくなってきたものづくりにチャレンジする。飛行機、ぶんぶんごま、パラシュート、犬のマスコット、パッチン入れ物、干支(牛)ストラップなどを地域の方を講師に迎え、作り方を教えていただきながら交流し、活動する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動推進員 ・地域ボランティア(工作・手芸・裁縫) 	<p>○うまく作れなくて困っている児童にも講師の先生方が成功するように根気強く指導してくださるため、児童は満足感を得られ、ものづくりに対する関心を高められた。</p> <p>●長く携わってくださっている講師の方で交代を希望している方もいる。後進を確保することについて推進員と共に検討している。</p>
白 岩 小学校	<p>地域の伝統工芸で卒業制作</p> <p>6年生は卒業を前に、地域の伝統工芸品である白岩焼を追求し、昔ながらの色を再現しようとしている方々の指導のもと、白岩で採取した粘土で轆轤(ろくろ)を使い、本格的な焼き物を制作する。子どもたちは初めて轆轤を使い、土の感触を味わっている。作品の完成度は高く、作品を大切にしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・白岩焼塾 ・白岩経済文化研究所のメンバー 	<p>○地域の伝統工芸品である白岩焼を自分自身で作ることで、作品の良さを感じ、郷土に誇りをもち、愛着をもつきっかけとなっている。</p> <p>●轆轤を回し、成形するまでは子どもたちが行うが、その後の素焼きや釉薬掛け、本焼き等の工程は指導者が行うため、子どもたちが関われる工程が少ない。</p>
生保内 小学校	<p>ふるさと教育を支える地域学校協働活動「生小応援団」</p> <p>学校のニーズに合わせ、生活科や総合的な学習の時間等で様々な協力を頂いている。</p> <p>1年…昔遊び体験(12月) 2年…まち探検(7月・12月) 4年…仙北市調査・体験(10月) 市のPR・販売体験(11月) 5, 6年…ミシン活動補助(11~12月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生保内地域運営体(販売) ・生保内友の会(FW補助・ミシン補助) ・おはなしの会アトリエ ・SMILE DRAGON(FW補助・立志教育) ・田沢湖公民館(昔遊び) ・田沢湖語りの会(昔遊び) ・西木スキークラブ 	<p>○地域学校協働活動推進員との連携・協働体制が整えられ、新たな団体との連携を進めることができた。そのため、持続可能な活動となっている。</p> <p>●ふるさとの自然・文化・人材・施設等を活用した学習や体験活動を、学年の発達段階に即した学びとなるような全体計画(6年間)の計画・体制の整備。</p>
神 代 小学校	<p>総合的な学習の時間「いぶり大根作り」</p> <p>3年生の総合的な学習の時間の単元。地域住民の生活を支える「農業」の学習を栽培・収穫・加工・商品化・販売とつなげることで、「生活と環境」にまで学びを広げ深めることをねらいとした一連の体験的な学習活動。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域運営体(大根の種まき・栽培・収穫・加工の指導) ・デザイナー(商品パッケージデザイン指導) ・小売業者(販売) 	<p>○プロのデザイナーや経験豊富な地域の高齢者等から各工程で指導をいただき、様々な人と触れ合う多様な学習活動を通じて、体験的に学ぶことができています。</p> <p>●児童数の減少、長年協力をいただいている方々の高齢化により、充実した学習の継続を見据え活動内容や計画の見直し、新たな人材確保等が必要となる。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
西明寺小学校	<p>地域ふれあい教室</p> <p>市内在住の方々を講師として招き、学年に応じた内容で活動する。文化的活動や地域貢献活動で活躍している方々との交流を通じて、活動への思いや学び続ける姿勢に触れることでふるさとに対する自分の考えを深める。</p> <p>1, 2年…紙工作体験 3年…ヒップホップダンス教室 4年…茶道体験 5年…子ども写真教室 6年…角館美術探訪</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア (紙工作) ・ダンスアカデミー講師 (ダンス教室) ・地域ボランティア (茶道) ・写真館 (写真教室) ・地元の画家 (美術) ・西木公民館 	<p>○地域の方々の協力を得ながら学習を進めることで、地域に対する関心の高まりと同時に自分たちの住む地域を大切にしていこうとする思いを更に深めることができた。</p> <p>●講師の高齢化や後継者不足等の問題から、学習活動継続のための人材リストの整理が必要である。</p>
千 畑 小学校	<p>清水の環境保全</p> <p>毎年5年生が総合的な学習の時間に、地域の方々に案内していただきながら、千畑地域のいくつかの清水を見学したり、地域自治会等の協力を得て、学校の敷地内にあるビオトープの清掃に取り組む。男鹿水族館G A Oと連携し、イバラトミヨの生態についても学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治会 ・美郷町農地・水環境保全組織 ・仙北地域振興局 ・地元企業 ・学校支援ボランティア 	<p>○千畑地区の環境の素晴らしさを実感することができた。また、地域の環境を守るために活動している方々の存在を知り、思いの深さを知ることができた。</p> <p>●今後も地域の方々と協力して行う活動を継続することで、ふるさと千畑を大切にするとともに地域に根ざした児童のキャリア意識を高めていきたい。</p>
仙 南 小学校	<p>美郷の未来をえがこう！ ～わたしたちの考えるこれからの農業～</p> <p>秋田県の基幹産業である稲作について興味をもたせるために、実際に水田での田植えや稲刈り作業を体験しながら、農家の方が安全でおいしい米を作る工夫をしていることを学ぶ。</p> <p>(1) 田植え体験 (2) 水田観察と生き物調査 (3) 案山子作り (4) 大仙事業場見学 (5) 案山子設置 (6) 稲刈り (7) 収穫祭 (8) わら細工製作体験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・稲作農家 ・国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 大仙事業場 ・保護者 	<p>○作業の大変さだけでなく、稲作に携わっている方々の思いや工夫を学ぶことができた。米粉パン等の米離れに対応する農家の工夫にも触れることができた。農業を行程という一面だけでなく、多面的に学ぶことができた。</p> <p>●学校田がないため、毎年協力してくださる方々を学校で探さなければならない。J Aと連携して進められるようにしたい。</p>
横手南 小学校	<p>「いいな 大好き 横手川」</p> <p>6年生の総合的な学習の時間の取組。学校の前を流れる横手川の環境について考え、自分たちにできることを実践する。</p> <p>【活動①】横手川沿いのクリーンアップ 【活動②】横手川に生息する魚類についての学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良区 ・漁業組合 	<p>○横手川を「環境」というレンズから覗いたことで、児童一人一人が積極的に意識を働かせて横手川を地域の誇りと考え、環境を守ることの大切さについて実感することができた。</p> <p>●全校児童で横手川への思いを共有できるとよいのではないかな。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
朝倉小学校	登下校の見守り ----- 朝倉地区民生委員の方々が毎月0のつく日に、低学年の下校指導を行う。	・朝倉地区民生委員	○入学期にはコロナの影響で活動をしない連絡があったが、有志の方々に見守り指導を行っていただき、新1年生が安心して下校することができた。 ●年々高齢化により見守り隊の人数が減少しており、今後活動が継続できるのか心配である。
栄小学校	気概にあふれる工業団地に学ぼう ----- 6年生の総合的な学習の時間「天屋の里」を通して、栄地区の地元にある第二工業団地、柳田工業団地の7事業所の方々からお話を伺い、仕事への関心や努力する態度の基礎を養い、ふるさと横手を新たな視点で見つめ直し、ふるさとを愛する心を育てる。	・アキタ・アダマンド ・アスター・大橋鉄工 ・京家・サユウ・菅与 ・プレステージ ・インターナショナル ・横手市企業誘致課 ・横手市秘書広報課	○事業所の方々が工夫を凝らしてお話をしてくださったことで、予想以上に子どもたちの心に響いた。7事業所についてPRできるくらいの学びがあった。 ●コロナ禍で各事業所の実際の様子を見ることができなかった。各事業所と調整をして、来校やSkype等の手段を講じる必要があった。
増田小学校	地域の高等学校と連携した果樹栽培活動（3年生） ----- 地域の特産品であるりんごの栽培について、増田高等学校の果樹園を活用し、高校生と協働しながら果樹栽培を体験する。栽培過程における摘果・袋かけ・葉摘み・袋はぎ・シール貼り・収穫を体験し、その活動と関連させてJAふるさとのジュース加工所での見学を通して地域の生産活動や食文化を学ぶ。	・増田高等学校農業科学科 ・JAふるさと職員	○リンゴの栽培過程を通して、生育状況を観察したり、育てる際の配慮事項を知ったりするなど果樹栽培についてたくさん学ぶことができた。 ●活動の計画や運営については、高等学校側によるところが大きいことから、より充実できるように小学校としての関わり方についての検討をしていきたい。
浅舞小学校	ひまわりプロジェクト2020 ----- ひまわりを中心とした人と関わる体験活動を通じて、自然や地域の方々のよさを感じ、ふるさとを大切にす る心情を育てる。 ・ひまわりの栽培・種取り ・ひまわり絵画コンクール・絵画展 ・ひまわり油の販売と収益金の地域への還元	・地域の農家（用地・起耕） ・田中ボランティア ・JA青年部 ・浅舞街部地区会議 ・横手市社会福祉協議会 ・浅舞地区の保育所・園 ・平鹿中学校美術部 ・横手支援学校	○地域や家族に支えられて活動していることが実感でき、活動に協力してくださった方々への感謝の気持ちを育むことができた。 ●新型コロナウイルス感染予防のため地区の方々からの協力が間接的なもの多くなり児童の協働の実感を高める工夫について検討する必要がある。

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
吉田小学校	<p>稲刈り体験学習（5年）</p> <p>地域の田んぼを借りて田植え・稲刈りを体験し、収穫した米を使って全校でおにぎりを作り、祖父母や家族、地域の方々にごちそうをする予定であった。社会的な情勢により、今年度は稲刈り体験だけを行った。稲を手刈りし、機械を使って脱穀する体験をした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・米づくり農家 ・田植え、稲刈り支援ボランティア ・JA職員 	<p>○体験を通じて、作物を収穫する喜びを味わうことができた。また、農家の方々の工夫や苦労について知ることができた。</p> <p>●収穫に感謝し、祖父母や地域の方々との交流だけでなく、地域の伝統芸能などを取り入れたふるさと教育の推進の一つとして行事をつくれないうか、検討している。</p>
醍醐小学校	<p>「キラリ 食と環境調査隊」 （総合的な学習の時間、社会科とも関連）</p> <p>地域の方から水田を貸与していただき、代掻き・田植え・稲刈り等、稲作を体験的に学んだ。週1回の稲の観察会では、稲の生育や仕事の内容等について説明を受けたり、質疑応答をしたりする機会を数回設けた。収穫した米はPTA親子レクリエーションで一緒に味わった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・米作り農家 ・JA秋田ふるさと 	<p>○体験を通して学習することで人や自然に触れ、自らの食生活や環境との関わり、働く人や食への感謝の気持ちを高めることができた。</p> <p>●新規の取組であり、活動計画の立案が年度当初となったので迷惑をかけた点もあった。今後、継続していくためには、前年度から依頼や協力体制の構築が必要である。</p>
雄物川小学校	<p>年末年始伝承行事体験</p> <p>地元の民家苑木戸五郎兵衛村の旧石黒家で、地域に伝わる年末年始行事体験（しめ飾りづくり・若水汲み・灸立て・餅つき）を5年生を対象に行い、行事に込められた地域の人々の願いに触れている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横手市子ども会育成連合 ・雄物川町文化財保護協会 	<p>○地域理解を深めるとともに、地域の方々との交流を通じて、自分も地域の一員であるという自覚と地域のよさを大切にしようとする思いをもつことができた。</p> <p>●地域行事を伝える人材が高齢化し、受け継ぐ児童数も減少している。地域のよさを積極的に継承していかうとする意識を高めていく教育活動を工夫したい。</p>
十文字第一小学校	<p>「食から見つめる横手のよさ」（5年生）</p> <p>地元の食を支える農家や食品加工業者を訪ね、日々の工夫や努力について学ぶ。また、米作りや米料理を体験することによって、横手の食の豊かさについて学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜生産農家 ・食品加工業者 ・道の駅 十文字 ・JA職員 ・JA女性部 	<p>○農家で収穫体験をしたり、話を聞いたりすることによって、作業の大変さや食を支えてくれる方々のありがたさを実感できた。</p> <p>●お世話になった方々へ、それぞれお礼の手紙を差し上げたが、地域のよさを発信できる活動の場がもっと設定できればよかった。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
十文字第二小学校	<p>第62回「孫の教育を語る会・学習発表会」</p> <p>学習田では二小を語る会やPTAの協力を得て餅米を栽培している。今年度はコロナ禍のため、餅つきは行わずに業者委託して餅を配布した。餅米の販売体験では、児童が地域住民と一緒に収穫を喜んだ。児童との交流が制約されるため、学習発表会を同時に行って、家族や地域住民に感謝の気持ちを表した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二小を語る会（学校後援団体） ・横手市三重公民館 ・二小PTA ・JA十文字営農センター 	<p>○お世話になった方々に感謝する気持ちやふるさとを大切にすることを育てることができた。今年度末で閉校になるため、思い出に残る会になった。</p> <p>●今年度は飲食を行わず、PTAの負担が小さくなった。閉校となるので、この会も最後になって惜しまれた。今後は学習田をどのように活用していくか検討したい。</p>
睦合小学校	<p>第46回学区一周駅伝大会</p> <p>本校では、今年で46回を数える「学区一周駅伝大会」が10月17日に行われた。全校児童79名が4チームに分かれて襷をつなぎ睦合地区全町内18.4km、20区間を力走する最後の大会である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通指導隊 ・交通安全協会 ・横手警察署 ・学校支援ボランティア ・PTA役員 	<p>○地域の方々に見守られながら最後の大会を盛り上げようと、児童は走ることに耐え、次の走者へ襷を渡すことができ、チームが一体となって取り組むことができた。</p> <p>●統合校での継続実施は難しいが、睦合地区に続く行事として公民館等の関係機関と連携しながら継続したいという地域の声もある。</p>
山内小学校	<p>山内の特産品「いものこ」を育てよう</p> <p>「いものこ（里芋）」栽培を通して、ふるさとの自然や人々、文化・産業に触れるなかで、ふるさとのよさを発見し、地域の一員としての自覚やふるさとへの愛着の気持ちを育むことをねらいとしている。定植作業・土寄せ体験・収穫をいものこ農家の方々に指導していただきながら、主に全校児童縦割り班で行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いものこ農家の方 	<p>○収穫した「いものこ」を種苗交換会へ出品し、「学校農園展優秀賞一席」を受賞した。地域への理解と愛着を深めるとともに、地域に対する誇りをもつことができた。</p> <p>●収穫した「いものこ」を老人施設や保育園へ、プレゼントしているが、地元品の販売店と協力して広くアピールすることも考えていきたい。</p>
大雄小学校	<p>飛び出せ大雄っ子活動 6年食農体験学習</p> <p>枝豆の作付けや収穫体験、その大豆を使っての味噌仕込み等を通じて、横手の農業と食文化について関心を持ち、郷土を大切にしようとする気持ちを育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横手市農林部食農推進課 ・横手市園芸振興拠点センター ・よこて発酵文化研究所（醸造・発酵部会の方々） 	<p>○収穫の大きさや喜びを味わった。味噌作りに携わる方々との交流を通じて、横手の発酵文化を継承・進化させようと努力をしている方々の思いを知ることができた。</p> <p>●自分たちで作った味噌を使っての調理や家庭とつながる活動を行い、さらに体験活動を充実させていきたい。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
湯沢東 小学校	<p>知ろう 体験しよう 犬っこ祭り</p> <p>5年生を対象に地域の伝統行事である犬っこ祭りの歴史を学んで理解を深め、伝統的に受け継がれてきた米粉をこねて犬の形を作るしんこ細工を体験する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア (歴史の講話) (しんこ細工指導) 	<p>○受け継がれている行事には理由があることを理解し、伝統行事のよさを感じることができた。</p> <p>●しんこ細工を指導していただく方々が、少なくなってきた。</p>
湯沢西 小学校	<p>湯沢のじまんを見つけよう～地域の技を学ぶ～</p> <p>3年生の総合的な学習において、湯沢市の伝統行事や伝統工芸等に携わる方々を講師として迎え、由来や作製に係る苦勞を「技」として体験学習を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵どうろう指導者 ・まなぐ凧制作者 ・工芸家具職人 ・稲庭うどん職人 ・佐竹太鼓指導者 ・アクセリー制作者 	<p>○地域の伝統工芸・行事を体験し、技の体験を通して学ぶことで、深く、広い学びにつなげることができた。</p> <p>●講師との連絡や日程調整に難儀した。体験内容によっては材料費の負担が生じた。</p>
三 関 小学校	<p>学校支援事業による学校清掃への協力</p> <p>学期末に実施している清掃強調週間（ロッカーや窓の棧・ゴミ箱等、普段清掃の行き届かない箇所を清掃する1週間）の時に、学校ボランティアの方々とともに清掃をする。主にトイレや水飲み場等、児童だけでは難しい箇所に入ってもらい、掃除の仕方を学びながら一緒に学校をきれいにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーター ・保護者 ・地域住民 	<p>○児童は「清掃の仕方を学び今まで以上に清掃箇所をきれいにできた」こと、ボランティアの方は「一緒に活動し、喜んでもらった」ことで双方とも充実感を味わうことができた。</p> <p>●取組の周知に力を入れ、ボランティアの数を増やし、強調週間だけでなく、定期的な活動にしていきたい。</p>
山 田 小学校	<p>地域の方に支援していただいたの「野菜栽培」</p> <p>1, 2年生を対象に生活科の野菜栽培を土作りから行った。栽培活動中も野菜先生として栽培時の工夫について教えていただいた。2年生は町探検で農家や野菜栽培の会社に行き、実際の野菜作りの様子を見学した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア ・野菜作り農家 	<p>○土作りから自分たちで行ったことで、意欲と愛情をもって野菜を育てることができた。地域の産業について学ぶことができた。</p> <p>●農家の方々との打ち合わせや連絡調整を密に行い、子どもたち自らが気付き、活動していくことができるような学習過程を工夫していくことが大切である。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
須川小学校	<p>地域再発見！「I LOVE すかわ 夢プロジェクト」</p> <p>閉校後も地域の一員として生きる夢や誇りをもてる児童を育むために、社会で活躍している地域出身の方々に地域のよさを感じられるお話を聞くプロジェクトを行った。（対象：全校児童）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオガイド（地区センター職員） ・地元出身有識者 ・副市長 ・農業体験指導者 	<p>○児童は自分の地域のことなので興味をもって話を聞いていた。全員が地域への愛着と誇りを感じ、閉校後も「須川」の未来を担っていこうとする意欲を高めていた。</p> <p>●来年度の統合により、統合校での実践にどのように取り入れていくのが課題である。</p>
稲庭小学校	<p>桜の手入れ作業</p> <p>4～6年生を対象に地域の「桜を守る会」の方々と一緒に校舎周辺の全ての桜の根元に肥料を蒔いたり埋めたりする作業を体験する。「桜の学校」を誇りにし、大切にしている方々の思いを知り、自分たちも大切にしようとする心情を育てる。令和4年度に統合となるため、令和3年度が最後の手入れ作業となる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・稲庭の桜を守る会 	<p>○肥料を与える作業の大変さとともに、満開を楽しむにす気持ちや愛校心を十分に培った。</p> <p>●今後の保存活動を模索していかなければいけないと考える。</p>
三梨小学校	<p>地域の力を活用した「米作り体験」</p> <p>5年生を対象に米作り体験を行う。苗作り・田植え・稗抜き・稲刈り・脱穀の作業を体験し、地域の産業について学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア（米作り体験） ・美土里ネット職員 	<p>○収穫した米は、全校の餅つき会に使用されるため、収穫の喜びと人々の役に立つことを体感できた。また、作業の大変さや農地を守る地域の方々の苦勞を知ることができた。</p> <p>●コロナの自粛期間と重なり、例年行っていた苗作り・稗抜き・脱穀作業ができず、活動は縮小された。</p>
川連小学校	<p>コロナに負けるな！布マスクづくり</p> <p>4月当初、マスクが品薄で手に入らなかった時期に、学校支援ボランティアの助けを借りて6年生が家庭科で布マスクづくりに挑戦して、一人2枚のマスクを製作した。同時にボランティアの方々に1～5年生分、一人2枚のマスクを製作していただき、全校児童に配布した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア ・地域コーディネーター 	<p>○急な企画であったが多くのボランティアに御協力いただいた。直接子どもを指導しなくても、家庭でマスクを製作し、届けてくれた地域の方々がたくさんいた。</p> <p>●今回は、臨時休校になる直前で慌ただしい中での活動であったが、今後もこの状況が続くのであれば、きちんとした計画の基で実施していきたい。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
雄 勝 小学校	<p>地域ボランティアの協力による「花いっぱい運動」と「農園活動」</p> <p>地域ボランティアが児童のプランターへの花植えを支援した。1年生は併設する雄勝中学校の3年生と一緒にプランターの花植えをし、環境美化に取り組んだ。4年生は農園活動で収穫した枝豆を地元にある「おがち道の駅」で販売し、地域住民との交流を深めた。</p>	<p><花いっぱい運動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア ・市福祉課 <p><農園活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア ・JA 	<p>○中学生や地域の方々と触れ合いながら活動をする中で、コミュニティとの関わり方を学習する機会となり、地域におけるキャリア教育の場が確保できる。</p> <p>●花や農作物を管理する体制に、配慮が必要になる。</p>
皆 瀬 小学校	<p>地域の人から学ぼう「働くって どんなこと」</p> <p>5, 6年生を縦割り5グループに分け、グループごとに働くことの意義について話を聞く。「仕事の内容・魅力・苦勞」、「働くことによって得られる喜び・満足感」、「その仕事について理由」、「今学んでいることが将来にどうつながるか」について学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会 ・湯沢市役所 ・皆瀬保育園 ・皆瀬更生園 ・地域おこし協力隊 	<p>○「これからの生活で大切にしたいことや人のために何かをすることがとても大切なことを知った。」というような前向きな振り返りがたくさんあった。</p> <p>●子どもたちだけでなく、保護者にも呼びかけて勉強する機会にしたい。</p>
西馬音内小学校	<p>西馬音内盆踊り集会</p> <p>低・中・高学年別に西馬音内の伝統芸能である盆踊りの踊り方を学び、地域の伝統文化を伝承していく心を育てていく。(全学年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西馬音内盆踊りサークル「北の盆」 	<p>○本番の西馬音内盆踊りは中止になったが、地域の方々から踊り方を習うことでふるさとの伝統文化に触れ、郷土への愛着を深める機会となった。</p> <p>●低学年は体験で得た学びを教科等の学習とつなげて行くことも必要である。高学年は踊り方を学ぶだけでなく、別の視点での学びを組み入れることも考えたい。</p>
三 輪 小学校	<p>地域の伝統芸能にふれよう「野中人形芝居」</p> <p>3年生の総合的な学習の時間に、野中人形芝居の座員の方々に学校に招き、歴史や現在の活動の様子、人形の操作等を教わる。2回目の学習では、実際に人形芝居の舞台を3, 4年生で鑑賞する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・野中吉田栄楽一座(座員3名) 	<p>○学区内で活動する県指定無形民俗文化財の人形芝居に触れる貴重な体験ができた。地域の一員としての座員の思いが児童の心に強く響いたようである。</p> <p>●毎年継続して総合的な学習の時間等で活用していければよい。クラブ活動等を通じて、地域の民族芸能の伝承という観点で今後の活動を検討していきたい。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
羽後明成小学校	<p>祖父母ふれあいなべっこ会</p> <p>-----</p> <p>祖父母のみなさんや地域のお年寄りを招待して交流したり、いものこ汁のなべを囲んでなべっこ会をしたりしている。前段では郷土の偉人「佐藤信淵」の紙芝居や体操を地域の方々に披露していただく。郷土の偉人の生き方を学び、共に汗を流す機会とし、学校農園で収穫した里芋を使ってのなべっこ会で交流を図る行事。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会 ・地域学校協働本部 ・PTA文化研修部 ・社会福祉協議会 (新成支会・明治支会) ・JA職員(学校農園) ・地域ボランティア (紙芝居語り) (座ってできる体操) 	<p>○今年も好評であった。直接的な触れ合いはなくとも、紙芝居や体操を通して心が温まる時間となった。笑顔でいものこ汁を味わう姿が多く見られた。</p> <p>●触れ合いの方法を様々なことに配慮しながら、検討していきたい。</p>
高瀬小学校	<p>高瀬っ子 夢キラッとプロジェクト</p> <p>-----</p> <p>ふるさとのよさを知り、ふるさとに生きることの誇りと喜びを感じるとともに、地域の方々と関わりながら伝統を継承していこうとする意識と夢を育むことをねらいとして行っている。3年生以上が総合的な学習の時間とキャリア教育の一環として、田代太鼓・仙道番楽・西馬音内盆踊りを学び、学習発表会等で発信している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域芸能保存団体 (太鼓) ・地域伝統芸能保存団体 (仙道番楽) (西馬音内盆踊り) 	<p>○指導団体の方々の丁寧な指導、それを受けて熱心に練習する児童の姿勢が相乗効果を生み、芸能を通して心の交流が図られている。年々技術も向上している。</p> <p>●3つの芸能をローテーションして体験していく際のモチベーションの高め方とより多様な発信の方法と機会について模索している。</p>
東成瀬小学校	<p>ふるさと先生に学ぶ「地域の自然」</p> <p>-----</p> <p>3年生が季節の変化に応じて村の自然について学びを深める。地域支援コーディネーターに相談し、実際に村内に出かけたり、ふるさと先生から学ぶ機会をもったりする。地域の施設「まるごと自然館」や「ふるさと館」を活用し、館長から写真や実物の説明を聞くこともできる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援ボランティア 	<p>○資料で調べたことであっても自分で体験、観察することで新しい発見があり、地域の自然を大切にしていきたいという思いが育まれる。</p> <p>●感染症予防対策により、活動の制限があった。その結果、活動場所等についてふるさと先生の熱意と学校の考えとの折り合いの付け方については今後の課題である。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
大曲西 中学校	<p>地域と連携した「心のバリアフリー学習」</p> <p>-----</p> <p>教育活動の核となる「心のバリアフリー学習」を地域の関係団体と連携して実施する。 1年「菜の花タイム」, 「認知症サポーター養成講座」 2年「支援学校とのポッチャ交流会」 3年「車いすバスケットボール体験教室」, 「がん教育講座」</p>	<p><菜の花タイム> ・人権擁護委員会 ・見守りボランティア</p> <p><認知症サポーター養成講座> ・社会福祉協議会</p> <p><車いすバスケットボール体験教室> ・車いすバスケットボールクラブ</p> <p><がん教育講座> ・がん専門医, がん経験者</p>	<p>○「人が困っているときは進んで助ける」「人の役に立つ人間になりたい」と、情意面アンケート結果では「あてはまる～ややあてはまる」がほぼ100%である。</p> <p>●コロナ禍のため、規模の縮小や未実施の活動があった。</p>
大曲南 中学校	<p>角間川地区 (1/22) 藤木地区 (2/1) 42歳厄払い梵天</p> <p>-----</p> <p>この地区には、42歳の厄払いの方々が生祠に梵天を奉納する前に、梵天を披露するために学校を訪問する伝統がある。全校を代表して3年生に、無病息災、全員合格を祈願し、梵天唄を披露してくれる。それに対して3年生の有志が御礼に梵天唄を返す。地域の先輩後輩の絆を強く感じるひと時である。</p>	<p>・角間川昭和55年会 ・藤木昭和55年会</p>	<p>○地域の方々と交流する機会が増え、自分も地域社会の一員であることの自覚が深まり、自分たちからも積極的にあいさつ等ができるようになってきた。</p> <p>●学校と地域がより連携して相互に協力し合う体制を作り上げていく必要がある。</p>
豊 成 中学校	<p>地域の力を活用した「農業体験学習」</p> <p>-----</p> <p>2年生が対象。豊成地区の基幹産業である農業に関する学習や体験を通じて、ふるさとのよさを学び、ふるさとの未来に対する自分なりのビジョンを描く。 ・「先輩と語る会」OGの若手農業後継者から、地域農業の課題や展望を聞く。 ・豊成地域5カ所に分かれて農業体験学習をし、活動レポートを作成する。</p>	<p>・若手農業後継者 （「先輩と語る会」講師）</p> <p>・地域の花卉栽培農家 ・地域の枝豆栽培農家 ・地域のトマト栽培農家</p>	<p>○身近な産業ではあるが、この地域で暮らしていてもあまり体験することのない農業を直接体験し、地域の農業や将来働くということに関心をもつことができた。</p> <p>●今年度で閉校となるが、統合する中仙中学校でも続けていきたい活動と考えている。</p>
協 和 中学校	<p>地域再発見「協和の昔と今、そして未来」協和ツアー</p> <p>-----</p> <p>協和地域の史跡や施設等を訪問して、歴史や文化について理解と見識を深め、地域に対する関心を高める。</p>	<p>・戊辰公園 （滝沢清寿さん） ・農事組合法人たねっこ ・大盛館 ・道の駅協和 ・唐松神社 ・奥田酒造店</p>	<p>○コロナ禍の中、市バスの利用条件である1時間以内の場所をクリアしながら地域について知るきっかけになった。市で事前に戊辰公園の除草をしてもらえた。</p> <p>●訪問箇所が多くなり、1カ所につき40～50分と短時間であったが、立ちっぱなしや説明時間の不足等、事前の調整が必要であった。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
南 外 中学校	茶道体験学習 ----- 茶道の心や作法の学習を通じて、郷土に対する誇りや郷土愛を育み、心の豊かさを培う。	・茶道裏千家同好会 ・南外公民館 ・大仙市地域おこし協力隊員	○2年生を対象に日本の伝統文化を体験することにより、日本文化について理解を深め、マナーの大切さや相手を思いやる精神を育むことができた。 ●学んだことを披露する機会を検討したい。一昨年までは学校祭でお手前を披露していた。
角 館 中学校	ようこそ先輩「先輩から学ぶ」時間 ----- 地元の事業所等で活躍する本校出身者を中心とした講話。講師は地元で地域の活性化に貢献し、秋田の発展を支えようという気概に満ちた方々である。この活動を通じて、郷土の課題や展望、適切な進路選択について考え「高い志と公共の精神をもち、秋田の将来を支えていく人材の育成」を図る。	・設計/測量事務所（設計/測量士） ・高等学校（教員） ・こども園（保育士） ・洋菓子店（菓子職人） ・劇団（舞台役者）	○P T A参観日に実施し、P T A総務部の協力を得て進めることができた。講師の人選に保護者も関わることで、幅広い分野から講師を招くことができた。 ●感染症予防対策のため、職場体験等が制限されたり、依頼がかなわなかった業種があったりしたため、生徒の適性に応じたより多くの講話を聴講できるよう検討している。
西明寺 中学校	西木音頭講習会 ----- 全校生徒を対象に、地域の伝統芸能である西木音頭の舞踊を習得する。講習を通じて、郷土の一員としての自覚を深めるとともに、お盆後に行われる「戸沢氏祭」に参加する意欲を喚起する。	・仙北市教育委員会 生涯学習課（西木公民館） ・西木地区婦人会	○小学校でも経験しており、講習はスムーズに進めることができた。講師の方々も顔見知りで世代を超えた交流が見られ、郷土を愛する心情が深まった。 ●小学校と合同で実施すれば交流もより深められると思うが、「密」を回避することを考えると開催する場所がない。
美 郷 中学校	「みさと働きびと」を活用した地域人材によるキャリア教育 ----- 美郷町教育委員会が発行している「みさと働きびと」に紹介されている方々を学校に招き、講話や体験活動を通じて、働くことや学ぶことの意義について考え、自己の進路実現に向けて取り組む。	・美郷町教育委員会 ・地域の事業所 ・地域で働く皆様	○地元で働く人の講話を聞くことにより、ふるさとに愛着をもち、自己の進路実現に向けて深く考える機会とすることができた。 ●町内3小学校と連携し、「みさと働きびと」を活用したキャリア教育の有効活用を図り、さらなる充実を図っていきたい。

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
横手北 中学校	総合的な学習の時間（2年） 「未来を拓くキャリア教育～中学生向け企業説明会」 ----- 地元企業の仕事の内容や魅力を知り、将来の夢や職業への関心・意欲を高める。	・横手市内企業8社16名 ・平鹿地域振興局11名	○生徒の進路の意識が高まる機会になった。個々が3つの企業の説明を受けるように計画したため、様々な企業を比較することができてよかった。 ●8つの会場で電子黒板や大型テレビを使用するため準備に難儀した。他の学年の授業にも迷惑をかけてしまった。
平 鹿 中学校	未来を拓くキャリア教育!!～中学生向け企業説明会～ ----- 秋田県平鹿地域振興局が主催する事業を活用して、2年生を対象に各ブースごとに分かれて地元企業担当者が中学生向けに企業説明会を行う。	・(株)吉田建設 ・(株)Nui Tec Corporation ・(株)フレンドール ・社会福祉法人ひらか福祉会 ・(有)日野 ・(株)アスター ・モノクロ株式会社	○キャリア教育の視点で地元企業の特色を学び、自己の将来の展望に役立てることができた。 ●さらに幅広い業種の方々に説明してもらえるとよい。今年度初めての事業であったが、今後も継続してもらいたい。
十文字 中学校	和紙を使った卒業証書用紙の作成 ----- 2年生を対象に、地域の伝統工芸である十文字和紙づくりに携わる方々の指導の下、十文字和紙づくりを体験する。作成した和紙は卒業証書の用紙として使用し、卒業式で卒業生に贈られる。	・十文字和紙づくり職人	○地域に受け継がれてきた伝統工芸に触れることは地域の再発見となった。作成したものが卒業生に贈られることで、活動に誇りがもて、自信につながった。 ●和紙づくり自体に継承者等の課題が存在しており、それによって活動が左右される。
湯沢北 中学校	地域人材を活用した「生き方講座」 ----- 職業人として地域で活躍している方々を講師として学校に招き、全校生徒縦割りにして、あらかじめ選択したコースに分かれ、講話や意見交換をして地域の方々から生き方を学ぶ。生徒自らの職業観や勤労観を醸成し、将来をたくましく生き抜く意欲を喚起する。	・森の案内人 ・薬剤師 ・精密機械製造 ・パティシエ ・塗装業 ・消防士 ・園芸農業 ・介護福祉士 ・販売員 ・警察官	○生徒が設定した課題について、自分の考えを述べたりアドバイスを得たりすることができた。自らの生き方について具体的なイメージをもつことができた。 ●PTA授業参観や学校運営協議会との同日開催にして、保護者や協議会委員の方々も参観したが、来年度はその場で意見交流するところまで高めていきたい。

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
稲川中学校	<p>地域に支えられ、激励されていることを実感する行事</p> <p>-----</p> <p>毎年受検シーズンになると地域から受検生を応援する様々な名産品が贈呈される。受検生はこの行事を通じて地域に支えられ、激励されていることを実感するとともに、地域に愛着をもち、感謝し、貢献したいという意欲につながっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ J A職員 ・ 漆器職人 ・ うどん組合 ・ 地域商店 	<p>○落ちないリンゴは29年目、合格箸は19年目、合格うどんは15年目、紅白おにぎりは5年目。地域からの激励を受け、マスコミにも取り上げられた。</p> <p>●恒例になっている感があり、生徒は当たり前のよう感じている。今後は、地域や社会にどのように関わり、貢献するか等を考えさせる機会としたい。</p>
雄勝中学校	<p>「ふるさと紹介手作りPR動画」制作</p> <p>-----</p> <p>昨年度の1年生が総合的な学習の時間に作成して雄勝地域全戸に配付した「私たちのふるさと雄勝」紹介パンフレットを発展させ、今年度はPR動画を制作した。湯沢ストリート村の方々の協力を得て制作に取り組み、学校祭や青少年育成湯沢市民大会の場で披露した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湯沢ストリート村 ・ 道の駅おがち ・ 小町園 ・ 向野寺 ・ 湯の沢温泉 ・ 秋の宮山荘 ・ 川原の湯っこ ・ 高橋正作さん生家 ・ 雄勝観光協会 ・ 横堀地域づくり協議会 ・ ジオパークガイド 	<p>○視点を工夫して撮影したり、ドローンで撮影していただいた映像を利用したりして完成させ、地域をより深く知り、発信することができた。</p> <p>●制作した動画を紹介する範囲が限られている。今後、DVDにして各事業所等に配付しPR活動の範囲を広げていきたい。</p>
皆瀬中学校	<p>職場体験学習</p> <p>-----</p> <p>2年生を対象に地元皆瀬で職場体験学習をする。この活動を通じて、地域の職業を知るとともに地域の方々の学校や生徒に対する思いを感じ取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ J A ・ 建設業 ・ 縫製業 ・ 小学校 ・ 保育園 ・ 食品加工業 ・ 製材所 	<p>○コロナ禍ではあったが、地域の職場に例年同様快く引き受けていただいた。1日だけではあったが、生徒にとって充実感のある貴重な体験ができた。</p> <p>●様々な条件があり、同じ時期に一斉に実施するため、日程を調整するのが難しい。</p>
羽後中学校	<p>伝統文化継承のための「盆踊り体験学習」</p> <p>-----</p> <p>1年生を対象に西馬音内盆踊りの体験学習を行う。指導を受けながら学校祭での学年演劇へとつなげた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 盆踊り保存会 ・ 地域学校協働本部 ・ コーディネーター 	<p>○国指定重要無形文化財としての伝統や歴史を学ぶことで、郷土愛の深まりが見られた。盆踊りクラブの指導も例年通りしていただいた。</p> <p>●盆踊り自体が中止となる中での継承の在り方について悩みながら進めた。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
大 曲 支援学校 せんぼく校 (中学部)	<p>作業学習で取り組む「鎌足和紙」作り</p> <p>-----</p> <p>作り手が途絶えたが、平成11年に復活した鎌足和紙。中学部の生徒がこうぞの皮はぎ・紙すき・製品作りの工程を分担して和紙作りを行っている。こうぞの管理や収穫にも関わっている。よい紙作りを目指して専門家から指導や助言をいただいている。地域の方々と紙すきを通じて交流も行っている。</p>	<p>・仙北市活性化施設 「かたくり館」</p>	<p>○独自性のある作業学習を続けることができている。専門家や体験をした方々から生徒の取組の様子を承認され、意欲につながっている。</p> <p>●協力を得て作るだけでなく、地域のために鎌足和紙を広く知ってもらう取組が必要である。製品開発や販路についても専門家や地域の方々のつながりを生かしたい。</p>
横 手 支援学校	<p>「横手が舞台」～山内いものこの栽培、収穫体験～</p> <p>-----</p> <p>小学部6年生児童，中学部農耕班生徒を対象に，横手の伝統野菜である山内いものこの植え付けや収穫を体験することで，地域の産業やそれに携わる方々の仕事の様子を知るとともに，生産に関わる基礎的な技術を身に付ける。</p>	<p>・山内いものこの農家</p>	<p>○農家の方々から教わった方法で，学校でもいものこの栽培に取り組んだところ，見通しをもって作業できた。たくさんのいものこを収穫し，達成感を得られた。</p> <p>●植え付けや収穫だけでなく，さくりかけ等作物の管理に関わる作業も体験できるように検討していきたい。</p>